

硬派弦楽アンサンブル「石田組」～プロフィール～



石田 泰尚

ヴァイオリニスト石田泰尚の呼びかけにより2014年に結成された弦楽合奏団。曲目によって様々な編成で演奏をするスタイルを取っており、メンバーは男性ばかりで「石田組長」が信頼を置いている首都圏の第一線で活躍するオーケストラメンバーを中心に公演ごとに「組員」が召集される。

レパートリーはバロック音楽から映画音楽、プログレッシブ・ロックまで多岐にわたり各々のスタイルをぶつけ合いながら織り成す演奏スタイルは弦楽アンサンブルの新しい世界を切り拓く存在として各方面から注目され、初の東京公演となった2015年浜離宮朝日ホールでの公演は完売となり急遽追加公演が行われた。単独公演のみならず工藤重典氏、渡辺克也氏ら著名な音楽家との共演や組員自ら指導に当たる教育プログラムの実施など活動は多岐に渡る。

【石田 泰尚/ヴァイオリン】

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業。同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの顔」として現在までその重責を担っている。これまでに神奈川フィル定期でハチャトゥリアン、グラス、ニールセン、ブラズノフ、コルンゴルド等の協奏曲を演奏し、プログラム後半でもコンサートマスターを務め称賛の聲が多く寄せられた。

2008年には神奈川文化賞未来賞、2012年には横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞した。ソロリサイタル、オーケストラとの共演以外にも新しいスタイルのピアノ演奏を追求した「トリオリベルタ」、正統派カルテットからロックナンバーまで幅広いレパートリーを誇る「YAMATO弦楽四重奏団」、ピアニスト及川浩治の呼びかけで結成された耳でも目でも楽しめるピアノ・トリオ「Bee」、CoolなメンバーによるHotなステージの「Super Trio 3°C」など様々なユニットに参加している。バロックから近現代までの幅広いレパートリーを持ち、全国各地でコンサートを開催。近年ではクラシックの枠を越えての活躍も目覚ましい。これまでに、渡辺雄一プロデューサーによる3枚のソロアルバムとブラームスのヴァイオリン・ソナタ全曲集(2009年1月録音)のほか、チェリスト山本裕康氏とのDVD「Duo」をリリースするなど録音も多い。その豊かな音楽性は「繊細で優美な音楽をさらにきめ細やかに表して、浄化された深い詩情が香り立つ魅惑的な演奏(音楽の友)など各方面から高く評価されている。

出演するコンサートはチケット売り切れが相次ぐほど、カリスマ的な人気を誇る。2014年には自身がプロデュースした男性奏者のみで構成される硬派弦楽アンサンブル「石田組」を結成。初の東京公演となった2015年浜離宮朝日ホールでの公演は完売となり急遽追加公演が行われた。今後の活躍がますます期待される。使用楽器は1690年製Tononi、1726年製M.Goffriller。
公式サイト▶<http://musiciansparty.com/artist/ishida/>

【佐久間 聡一/ヴァイオリン】

幼少よりヴァイオリンを始め、桐朋学園子供のための音楽教室山形分室を経て山形東高等学校から桐朋学園大学へ進む。10代から演奏活動を始め、ソロ・室内楽はもとより、日本青少年オーケストラ、桐朋学園オーケストラにて早くからコンサートマスターとして活躍する。桐朋学園在学中より新日本フィルハーモニー交響楽団の契約団員を務め、その後、大阪フィルハーモニー交響楽団の首席奏者、大阪フィル退団後はドイツ、ハノーファーにてUlrich Schneider教授の下で研鑽を積むほか、ドイツ・カンマーフィルハーモニー・プレーメンに客演。帰国後、オーケストラへの客演をはじめ全国各地で公演や録音を行うかたわら、「幼少期からの音楽体験プロジェクト」など、乳幼児が音楽に触れやすい機会の創出にも力を注ぐ。

2014年4月、広島交響楽団・第一コンサートマスターに就任。その他、「第21弦楽四重奏団」「エレメンツ・ストリング・カルテット」「アウラス・トリオ」での活動を中心に、年間数多くの室内楽コンサートに出演するほか、「東京・春・音楽祭」など国内の主要な音楽祭にも招かれる。また、CD録音も数多く通算7枚をリリース、好評を博している。2017年より地元山形を中心に、自身のシリーズ「佐久間聡一運命の音」を展開。

【廣岡 克隆/ヴァイオリン】

兵庫県神戸市出身。3歳よりヴァイオリンを始める。

【双紙 正哉/ヴァイオリン】

1993年東京芸術大学に入学。1994年オーディションに合格しABCフレッシュコンサートに出演。1996年兵庫県3ヶ所においてリサイタルを行う。その結果により神戸難ライオンズクラブ音楽賞受賞。同年2月よりニューイングランド音楽院(米田ボストン)へ留学。1997年、神戸においてリサイタルを行う。1998年、東京芸術大学卒業。在学中、安宅賞を受賞。同年アシスタント・コンサートマスターとして東京交響楽団に入団。現在、東京交響楽団での活動を中心に、大阪フィル、神奈川フィル、京都市交響楽団、仙台フィルなど、多数のオーケストラにコンサートマスターとして客演している他、ソロ、室内楽などの活動も積極的にしている。2004年からは東海大学において後進の指導にもあたっている。

【双紙 正哉/ヴァイオリン】

桐朋学園大学卒業。篠崎永徳、徳永二男、A.アレンコフの各氏に師事。95年東京交響楽団アシスタントコンサートマスター就任。98年退団後はソロ、室内楽を中心に活躍。ストリングカルテットARCO、2ndバイオリン。04年北九州市民文化奨励賞受賞。05年より東京都交響楽団2ndバイオリン首席奏者。

【塩田 脩/ヴァイオリン】

1983年、アメリカ合衆国ボストン生まれ。4歳よりヴァイオリンを始め、6歳よりニューヨークに渡りジュリアード音楽院プレカレッジに在学。2004年ニューイングランド音楽院を卒業。修士号取得。2006年より小澤征仁音楽塾オーケストラプロジェクト、オペラプロジェクト、サイトウキネン・フェスティバルに出演。各公演にてコンサートマスターを務める。兵庫県立文化センター管弦楽団グストコンサートマスター、京都交響楽団2nd violinゲスト首席奏者としても活動を広めている。2014年から東京都交響楽団に入団。瀬田益子、田中直子、シャーリー・ギブンスの各氏に師事。

【富田 大輔/ヴァイオリン】

三重県出身。愛知県立芸術大学を経て、東京芸術大学を卒業。同大学大学院修士課程修了。第3回みえ音楽コンクールヴァイオリン部門第1位。第13回日本クラシック音楽コンクール弦楽部門全国大会第4位。東京オペラの森、セージ・オザフ松本フェスティバルに出演のほか草津夏期国際音楽祭やアフィニス音楽祭などに参加。大学院在学中選抜され芸大室内楽定期に出演のほか、原村室内楽セミナーでは最優秀で「緑の丘音楽祭」を受賞し、奨学金を受ける。プロジェクトJ、Tが育てるアンサンブルシリーズ、リゾナーレ音楽祭など数々の演奏会に出演。また彩の国アーティストとしてさいたま芸術劇場にて様々な室内楽コンサートにも出演するなど様々な室内楽活動を展開。オーケストラ奏者として国内オーケストラの数々のコンサートに客演。また横浜シムフォニエッタ、関西フィルハーモニー管弦楽団では客演首席奏者としても活躍。日本フィルハーモニー交響楽団を経て、現在読売日本交響楽団ヴァイオリン奏者。これまでにヴァイオリンを野上早三博、克東俊之、川崎和憲、岡田伸夫の各氏に師事。

【鈴木 大樹/ヴァイオリン】

洗足学園音楽大学、同大学院卒業。第3回横浜国際音楽コンクール弦楽器部門1位。山手の丘音楽コンクール1位、横浜ライオンズクラブ賞、Fグループ賞を併せて受賞。第9回東京音楽

コンクール3位等、数々のコンクールに入賞している。これまでに宮崎国際音楽祭、プロジェクトQ等のコンサートに出演。ヴァイオリンを岡田伸夫に師事。

【金子 鈴太郎/チェロ】

桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。国内外のコンクールで優勝、入賞。2003年～2007年 大阪交響楽団首席チェロ奏者、2007年～2008年 大阪交響楽団特別首席チェロ奏者。現在は各オーケストラにゲスト首席として招聘されるほか、サイトウ・キネン・オーケストラ、ジャパニーズ・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ等で活躍中。トウキョウ・モーツァルト・レーヤーズ首席、Super Trio 3°C、長岡室内アンサンブル、ZAZA quartet、Quartet MARK 各メンバー。
公式サイト▶<http://rintaro.online.fr/>

【辻本 玲/チェロ】

東京芸術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。その後シベリウス・アカデミー(フィンランド)、ベルン芸術大学(SUIS)に留学し卒業。第72回日本音楽コンクール第2位(聴衆賞)受賞。2007年度青山音楽賞新人賞受賞。2009年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞(日本人最高位)。2013年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2011年に東京サントリーホール他5大都市でデビュー・リサイタルを開催。2013年トッパンホールでのリサイタルは読売新聞の演奏会評にて「質実剛健な音、得難い逸材」と絶賛された。サイトウ・キネン・オーケストラ、アルカス佐世保のレジデンス・カルテットに毎年参加し、チェロ四重奏団「カルテット・エクスプローチェ」ほか室内楽でも活動。メタ・ワッツ、オーランド・コール、川元満益、上村昇、山崎伸子、アルト・ノラス、アントニオ・メネセスの各氏に師事。現在日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・チェロ奏者。使用楽器は、NPO法人イェロー・エンジェルより1724年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを貸与されている。
公式サイト▶<http://www.rei-tsujimoto.com>

【米長 幸一/コントラバス】

10歳よりコントラバスを始め堤俊作氏に師事。桐朋学園大学卒、研究科修了。在学中に池松宏、ゲーリー・カー、ライナー・ツォベットの各氏に指導を受ける。2000年、日本演奏家協会コンクールにおいて弦楽器の部第1位。01年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席コントラバス奏者。

【松岡 あさひ/チェンバロ】

幼少よりピアノ、作曲を学ぶ。東京藝術大学音楽学部作曲科首席卒業。同時にアカンサス音楽賞、同声会賞受賞。同大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了。2011年、奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位。これまでにピアノを岡原慎也、森正、秦はるひ、Richard Wassmuth、Klaus Schildeの各氏に、チェンバロを大塚直哉氏に師事。2012年より、文化庁新進芸術家海外研修員として、ドイツ・シュトゥットガルト音楽・演劇大学に留学しオルガン演奏法をMartha Schuster氏に師事。現在、東京藝術大学演奏芸術センター教育研究助手。



佐久間 聡一

廣岡 克隆

双紙 正哉

塩田 脩

富田 大輔

鈴木 大樹

金子 鈴太郎

辻本 玲

米長 幸一

松岡 あさひ

鴻巣市文化センター(クリアこうのす)大ホール

公益財団法人 鴻巣市施設管理公社 〒365-0032 埼玉県鴻巣市中央29-1 ☎048-540-0540
Eメール…info@clea-konosu.com ホームページ…<http://clea-konosu.com/>

電車・バスでお越しの方は……

- JR高崎線 鴻巣駅(東口)より 徒歩約20分。
- JR高崎線 鴻巣駅(東口)より バス(3番乗り場) 免許センター行き 約5分 「市役所」又は「免許センター」(バス停)下車。

お車でお越しの方は……

- 大宮方面から首都高速埼玉大宮線「与野出口」より国道17号熊谷方面へ約45分。
- 関越自動車道「東松山I.C.」より約40分。
- 東北自動車道「加須I.C.」より約45分。
- 圏央道「蒲川加納」I.C.より約20分

※駐車場の数が限られています。公共交通機関をご利用ください。ご協力お願いします。

